

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回宍粟市ごみ収集等手数料あり方検討委員会	
開 催 日 時	令和5年6月16日（金）午後2時～	
開 催 場 所	宍粟市役所3階庁議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	委員長：福山千鶴、副委員長：落岩一生	
委 員 氏 名	（出席者） 落岩一生、井原達夫、中津恵美子、 福山千鶴、長田茂伸、多田千鶴子、 城下清美、春名堂司、井上由岐子、 土井景子、廣井久美、宮内よし子	（欠席者） 宮脇昭介、菅谷省三
事 務 局 氏 名	宍粟市市民生活部 部長 森本和人、次長 西岡公敬、次長兼課長 榎木 隆 副課長 大西常広、係長 雛倉 剛、 にしはりま環境事務組合 総務係長 岸根 潤	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） ・正副委員長の決定 ・会議の公開を承諾	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	<ul style="list-style-type: none"> ・宍粟市ごみ収集等手数料あり方検討委員会内規 ・宍粟市ごみ収集等手数料あり方検討委員会名簿 ・説明用資料 ・ 	
議 事 録 の 確 認	（委員長等） <u>委員長 福 山 千 鶴</u>	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	1. 開 会
	2. 委嘱状交付
市 長	3. 市長あいさつ
事務局	4. 委員等の紹介
各委員	(自己紹介形式で順次あいさつ)
事務局	委員会の成立について報告
	(内規第6条の2)
	委員会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことが出来ない。
	全14名中12名の出席により本委員会成立(委員の半数以上の出席)
	5. 正副委員長の選出
	(内規第5条の2)
	委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める
	委員長 福山委員、副委員長 落岩委員 に決定
委員長	6. ごみ収集等手数料のあり方検討委員会について、事務局から説明をよろしくお願いいたします。
事務局	検討委員会について説明
	第1条、現行のごみ収集等手数料のあり方の検討に当たり、広く市民等の意見を聞くため、宍粟市ごみ収集等手数料あり方検討委員会を置きます。ごみ収集手数料のあり方ですが、具体的には、ごみ袋とか、その料金とあり方について検討するという事です。第2条で現行のごみ収集等手数料のあり方に関する事と、現行の環境施策の推進に関する事を検討していただきます。委員のメンバーは、市内各種団体、連合自治会4名、商工会、消費者協会、宍粟市環境保全協議会4名、それと公募の方が今回4名ありまして、計14名で検討していただくこととなります。会議録の公開について、事務局側では音声録音を行い、会議録を作成し、市のホームページ等で公開することとなりますのでご了承ください。なお、会議録では発言者を特定できるような個人名などの個人情報情報は公開されませんので、活発なご意見をお願いしたいと思います。
委員長	事務局からの説明に対して質疑等はありませんでしょうか。また、本会議の公開につきまして、異議のある方はございませんか。
委 員	異議ではないですが、ごみ収集の手数料の事ですけれど、ごみ袋の代金以外にも何かありますか。
事務局	この場ではごみ袋のことを指しております。

委員	分かりました。
委員長	ほかに質問等がありますか。今回はごみ袋の値上げに関するだけという判断でよろしいでしょうか。上げるか上げないかは別として、その検討だけという解釈でよろしいですか。
事務局	先ほど説明しました内規の第2条で、最終的にはこの委員会に意見と提言をいただきたい。現行のごみ収集等手数料、これは先ほど言いました、ごみ袋の料金や粗大ごみのシールがありますが、当市ではごみ袋手数料のあり方がはたしてそういうあり方でいいのか、現状のままがいいのか、変更しなければいけないのか、料金についても妥当なのかというようなところについても意見をいただくのがまず一つです。それとごみ袋の料金だけではなく、それ以外の現行の環境施策についても、皆さんに勉強していただいて、もっとこういうような施策をしたほうがいいのかとか、今こういう施策しているけど、もっと力を入れるべきなのではというようなところも含めて、意見や提言をいただきたいという内容になっています。決してごみ袋の料金が高い、安い、上げる、下げるというだけの会議ではないというところをご理解いただいて、そのために、まずは市の今やっている施策とか、市の現状を皆さんにお知らせして勉強していただく期間を何回か取り、そのあと、会議を進めて、先ほどの2点について提言をいただくという委員会になるのではないかなと思っていますので、ご理解していただきたいと思います。ですので、その料金についても、活発な意見を当然いただいても結構です。よろしくをお願いします。
委員長	ありがとうございました。料金と言ったら本当に基本のことで、皆さんこの物価上昇の折に材料費が要るのかという、そういう錯覚の市民もおられるので、そのことも踏まえて、なぜ上げないといけないのか、上げなくてもいいのか、そういう方法がないかという、その根本的なところを考えてもらうための会なので、決して物価が上がったから袋代が上がった、上げなあかんという解釈だけはなしということをお願いいたします。
委員	実施計画なり、基本計画なり、多分ここにお集まりの方はあまり見られたことがないと思いますが、そういうものが、今日の資料にないというのは、今言われたような内容からすれば、少し残念かなという思いがあります。今現在どういう方向で進んでおるのか、将来的なことをどう見据えているのか。そういう計画をもとに、それぞれこのような手数料もそうですし、いろんな処理施設のことでもそうだろうとは思いますが、少しそういう、今ある、実施計画、基本計画というのを出示していただくほうがいいのではと思いますので、次回、よろしくお願ひしたいと思います。
事務局	今の意見につきまして、確かに一般廃棄物の実施計画を持っておりますが、かなり分厚い資料になっております。この後、市の施策を説明させていただきますので、その中で実施計画にこういうような動きをしているという話をします。もし、次回こういう情報を教えてもらいたいという意見がございましたら、資料として準備させていただきますのでよろしくをお願いします。また、今言わ

<p>委員長</p>	<p>れたように、もっと欲しいなという資料がありましたら、この会を通して、事務局に提案してほしいと思います。</p> <p>それでは、次の本題で、会議録を公開にしてもいいでしょうか。 異議のある方はございませんか。 声がないということ、異議なしということで解釈させていただいてよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">～異議なし～</p> <p>それでは、第7号、ごみ処理の現状について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ごみ処理の手数料のあり方を考える前にごみ処理が現在どうなっているか、市の施策はどうなっているということを、今から説明させていただきます。 スライドに基づいて説明させていただきます。</p> <p>宍粟市の資源循環型社会形成に向けてということで、国では資源循環型社会形成法があり、宍粟市でも、ごみの収集、分別とリサイクルの推進に努めております。ごみ処理の現状ということで今から、ごみの排出状況、ごみ処理と市の施策、また、その他ごみ処理経費等がどれだけかかっているかということをお説明させていただきます。</p> <p>1番にごみの排出状況ということで、宍粟市では排出する大部分のごみをにしはりまクリーンセンターで処分しております。以前は宍粟環境美化センターで処分しておりました。平成25年からにしはりまクリーンセンターで、広域で、大規模にごみを集めて24時間焼却しております。構成市町は地図にありますように、二市二町、宍粟市、たつの市の一部の新宮町、あと佐用町、上郡町で、にしはりまクリーンセンターは佐用町にありまして、そちらのほうに、可燃ごみ、不燃ごみ等を運んでおります。以前は姫路市の一部、安富町が入っていましたが、現在は離れて姫路で収集しております。</p> <p>ごみの内訳ですが、にしはりま環境事務組合の構成市町別ごみ搬入量の割合を書いております。全体のごみ量が令和3年度で2万2,502トン、そのうち42%が宍粟市、続いて佐用町が2番目で21%、上郡町、たつの市、宍粟市以外は大体同じぐらいの量が搬入されております。ごみの内訳は、宍粟市が約4割ありまして、そのごみの特徴といたしまして、粗大ごみが非常に多いです。粗大ごみが安いことが要因かも分かりませんが、他市町に比べても、圧倒的に率が高い状況が分かると思います。ちなみにこのごみは、にしはりまクリーンセンターに持っていったものなので、集団回収や店頭回収は入っていない状態で挙げております。</p> <p>次に、宍粟市の直近3年間のごみ・資源物の量の推移を挙げてまして、ほぼ横ばい1万トン前後で推移しております。そのうち家庭ごみが約6割、6,000トン前後になっておりまして、1人当たりのごみ量は、1日あたり、788.2グラム程度となっております。1万トンがどれぐらいの量かといいますと、25メートルのプールを幅が16メートル、深さ1.2メートルで計算すると体積が480立米、480トンで、大体その20倍程度のごみの量が出ております。また、そこに挙げております事業系ごみというのは、一般廃棄物のうち、事業所から出るものを事業系ごみと呼んでおります。それと資源になる資源物、直接持って</p>

事務局	<p>いった一般持込みごみとなっております。</p> <p>次に、令和3年度で1日1人当たり788.2グラム排出しております。ほぼ、排出しているごみは横ばいですが、人口は少しずつ減っておりますので、1人当たりのごみ量が少しずつ増えている状況となっております。</p> <p>また、宍粟市の可燃ごみの内訳で、1番多いのが紙布類、2番目が竹木藁ですが、ほとんどは剪定枝でこれだけ出ているということ、3番目がビニール・ゴム・皮革で、その次にちゅう芥類等が7%になっています。これは生ごみのことです。この比率は乾燥した状態の重さで、生ごみは約8割が水分と言われてますので、実際の重さとしては、倍以上のものが入っております。乾燥重量の割合で7%入っています。今、ごみの減量化としては、生ごみ、このちゅう芥類や紙布類の分別をもっと進めて減らすということが課題になってくると思います。</p> <p>次にごみ処理と市の施策ということで説明していきます。ごみの大部分は、にしはりまクリーンセンターで処分しますが、それぞれ令和3年度で可燃ごみが7,828トン、燃やさないごみが344トン、粗大ごみが971トンとなっております。処理方法は、可燃ごみ、燃やさないごみ、粗大ごみは破碎して燃えるものと燃えないものに分けて焼却します。それが灰となりまして、約1,000トンがセメント原料として、赤穂の工場処分、処理します。それと、ごみを焼却したときに出る熱を利用して発電をしており、その売電量が187万キロワット、金額にして約2,800万円となっております。また、燃やさないごみ・粗大ごみのうち、金属類の有価物については売却しており、宍粟市分で約1,400万円売却益が入っております。最後に使い物にならない不燃物を、宍粟北残渣最終処分場、昔の宍粟環境美化センターに運搬・埋立てしており、その量は155トンとなっております。内容はガラスくずや陶磁器くずなど、他に使えないようなものを埋立てしております。</p> <p>次に資源物ですが、これもしはりまクリーンセンターに行きまして、再生利用されております。ペットボトル、紙製容器包装、紙パック、プラスチック製容器の資源ごみは、容リ協（容器包装リサイクル協会）が落札した業者に搬入され、新しい製品として生まれ変わっております。数量は、ペットボトルで47トン、紙製容器包装で49トン、紙パック3トン、プラスチック製容器包装が134トンとなっております。</p> <p>特殊ごみというのは、電池、蛍光灯、水銀が入っているものをいまして、にしはりま環境事務組合を通じて、処理工場で処理しております。</p> <p>次に、ごみの市内循環ということで、宍粟市内で発生する資源物のうち、市内で処分できるものは市内で売却をしまして、資源化処理をしております。内容は、缶類、びん類、古紙類で、市内2業者で、収集運搬・売却をしております。缶類は、令和3年度で35トン、売却益が約49万円、びん類は161トンで、売却益が7万円。古紙類が274トンで大体30万円となっております。</p> <p>また、宍粟市では、リサイクル資源集団回収奨励事業ということで、市内でリサイクル資源を集団回収する団体に奨励金を交付しております。主に小学校や中学校に1キロ当たり、紙で10円、ペットボトル10円、びん・缶はキロ5円を交付しております。実績としましては、平成30年度が24団体665トン、直近では令和4年度23団体、380トンということで、その分の奨励金を交付しております。まだ資源物と分別がされていないときは、最盛期1,500トンぐらいあ</p>
-----	--

事務局	<p>りましたが、現在では、資源物は別ということもありまして4分の1ぐらいの380トン集まっております。</p> <p>次に、生ごみ処理機の購入助成制度ということで、生ごみ処理機、先ほど可燃ごみの内訳で、乾燥重量7%分を減量する施策といたしまして、購入に対して補助金を出しております。内容は単価5,000円以上のものについて、その2分の1、最大2万円を補助しております。令和3年度に22件、令和4年度は28件補助しております。生ごみ処理機もいくつか種類があり、乾燥型やコンポスター、あとバイオ型ということで、チップと生ごみを入れて電動で堆肥化するものにも補助しております。現在、平成20年度からの累計で約460台補助しております。最近では、ダンボールコンポストも勧めており、令和3年度から消費者協会や山崎町の老人大学などに働きかけて、身近にできるごみ減量施策として出前講座を行うなど普及に努めております。</p> <p>また、これも令和3年度から、リユースを促進するため“ジモティー”との連携協定を結んでおります。これは、スマホのアプリなどを使って、個人間の売買や交換を行うというものなのですが、粗大ごみが大変増えたということで粗大ごみを減らす施策として“ジモティー”の利用を市ぐるみで推進しております。</p> <p>次にキエーロについて市長のお話にもありましたが、現在しそチャンネルでキエーロの紹介をするトライアルウイークの様子を放映しております。今年度の主要事業として、7月8日と市内各生涯学習事務所で作成講座を行う予定です。キエーロというのはコンポスターとよく似ておりますが、この容器の中に黒土を入れて、その中に生ごみを入れてバクテリアの力で分解するというもので、許容量の範囲内で入れれば消滅してしまい、ごみやにおいが発生しにくいという特徴があります。この宍粟版キエーロの特徴としては、ただの木の器だけでなく、宍粟材を利用していることと、作成を市内の障害者就労支援施設で作製しているということで、森林保全と福祉、それとごみの減量の三つを同時に行っているというものが、宍粟版キエーロということで、本年度主要事業として推進しております。</p> <p>その他としては、ごみ処理経費にどれぐらいお金がかかっているかということも挙げております。令和2年度と令和3年度を比較しておりますが、これは去年の12月号の広報で紹介させていただいたものです。令和3年度の実績は全体で7億円、収集運搬費が2億4,400万円、組合分担金がにしまクリーンセンターの処理費、そのランニングコストとイニシャルコストを合わせたものということで、4億ほどあります。それと最終処分場費を合わせて全体で7億円かかっております。</p> <p>収集運搬費は粗大と不燃を分け、分別の方法を変えた関係で、少し金額上がっているということ。</p> <p>組合分担金は、建築費の償還金がピークを超えたこと、修繕料が少し減ったということもありまして、少し減額になっているという状況で、1年間で7億円、1人当たり2万円程度のごみ処理費用が発生しております。</p> <p>それと売却収益ですが、宍粟市全体で1,600万円の売却収益、その大部分が鉄系のごみですね、破碎鉄からアルミ、鉄くず・電気コードでそれだけで1,400万円の売却益を上げております。あと市内循環ということで、びん、缶、紙などを売った売却益86万円を自治会に交付しております。</p>
-----	---

事務局	<p>それと、これが先ほどありましたように、1年間に3人家族の家庭から出るごみの処理費用ということで計算しております。1トン当たりの処理費は、先ほどの7億円を全体のごみ搬出量1万トンで割ったものに、1人が年間に出すごみ量をかけて、一世帯当たりの人数3人で計算すると、約5万9,000円年間かかっております。</p>
委員長	<p>事務局からごみ処理の現状について説明がありました。 数字とか分からない部分もたくさんあると思いますが、気が付かれたこととか、質問等がありましたらお願いします。</p>
事務局	<p>委員長、1点だけよろしいですか。 先ほど説明の中で出てきました、にしはりま環境事務組合のところですが、漢字表記になっていますが、これは、平仮名で“にしはりま”ということになっておりますので、何か所か間違っているところがありますので、ご訂正をよろしくをお願いします。それと先ほど簡単に説明しました。このごみ処理というところを、なかなかご理解いただけないと思いますが、その地域で出たごみは、基本的にはその地域の行政が責任を持って、処理をしなければいけないと環境の施策で決められております。事業者が出すごみについては事業者の責任で処理しなければいけません、この地域から出た、要するに一般ごみについては、その地域の行政の責任において、きちんと処理しなさいということで、この宍粟市の中から出た一般ごみについては、宍粟市が責任を持って収集して、焼却していきますと、処分していきましようということになります。当然それには、いろいろ行政が担う負担がありますし、それを処理し、運ばなければいけない。もう一方でそこに対して、地域住民の方々にもいろいろご協力をいただければいけない。ごみの減量化の施策をいろいろ考えているところのご理解と、資源化できるものは資源化していく、地域の環境を守っていくためにごみをどうしていくかを考えていく。先ほど、キエーロもそうですし、それ以外の集団回収などの施策も行政は力を入れておりますという説明になりましたので、いろんなことを言ったので分かりづらかったと思いますが、その辺についてご意見をいただいたらと思います。</p>
委員	<p>多分、これは宍粟市一般廃棄物処理計画に基づいて運営されていると思いますが、まず一つ、お聞きしたいのは、にしはりまクリーンセンターへごみを持っていかれる。たつの市、新宮町だけになると思いますが、それと上郡町、佐用町のほかの地区については、ごみ袋代が有料化になっているのか、なっていないか。その辺のことをお聞きしたい。</p>
事務局	<p>ごみ袋の値段はそれぞれで違います。今回は全体像を把握するため、まだ出しておりませんが、この会議が進行する中で話をしますが、その前にどれぐらいお金がかかっているとか、どれぐらい量がかかっているかということで今回は説明させていただきました。</p>
委員	<p>ごみ袋によって、これだけの費用が賄えるとか、そういうことも重要なことであれば、先に出す方がいいと思います。要は手数料の検討委員会ですよね。</p>

事務局	<p>1 番最初にも言わせていただきましたが、手数料だけではないというところで、この会議を進めていく中で、そういうデータも今後出していきます。手数料について、他市町の状況であるとか、ごみの手数料を値上げする値上げせんという各自治体がいろいろな施策を打ってくる中で、当然、全国统一化されたものではありません。ごみの手数料、ごみ袋が無料のところも当然あります。、聞くところによると 1 枚が 400 円、500 円のごみ袋代というようなところもあります。そういうものを、出来ればデータとして出させていたきたいのですが、本日は手数料を検討してもらうのではなく、まずその前段、入り口の部分でいろんな施策、どういう処理経費がかかっているというところの説明ということなので、次回以降皆さんにお示ししたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。</p>
委員	<p>単純に考えて、どんどん人口が減っている宍粟市でごみが普通減っていくのが当たり前だと思います。でも、そこに問題があるのが、私が 1 番最初に言ったその年齢層の高い人口の人が多いので、その人たちに、そういうごみのことをいかに理解してもらって、うまく処理ができるようになるかということがね、結構大きな問題だと思います。1 年に一回とか何年に一回ごみの処理の仕方を周知するだけではいけない。日常の中でごみ処理の問題も提起して、働きかけすることがごみを減らすことにはならないですか。</p>
事務局	<p>今言われた意見はごもっともだと思っています。各一人一人、市民の方に、ごみの出し方をご理解いただいているのか。ごみの分別が始まってまだそんな歴史もありません。当然、私どもやうちの両親もそうです。まだ、このごみの分別のルールであるとか、出し方であるとかは、全部理解しているわけでもなく、なぜそんなことしなければいけないのかというような考えの方もおられます。それで、行政としましては、まず環境問題に立ち返ったときに、リサイクルであるとか分別であるとか、そういうところについてこれからは進めていかなければいけない。ただ単に、ごみ集めるのにお金がかかるから、ごみ袋代をもらうとか、分別するというのではなく、その環境問題に取り組んでいくというところを説明して、そのために分別をしなければいけない、資源になるものは資源として出さないといけないと、これからも丁寧に説明していかなければいけないと感じております。もちろん、環境はすごく大事で、私もそう思いますが、それ以前に、市の財政とかいろんなことを考えた場合に、ごみを減らしてもらうのが市のためになるというアピールをしてもらわないといけないと思います。これだけの予算とって、ごみを処理するのならばもっともっと知恵使って工夫して、使うお金を減らしていけないと思います。</p>
事務局	<p>皆さん、いろんな思いがあって集まって、いろんなことが聞きたいと思いますが、今話し合っているのは、この次第でいくと、2 番のごみ処理と市の政策について理解してほしいということですよ。それに対しての質問は構わないと思うけれども、8 番にその他っていうのがありますから、そのときに皆さんのこうしたしたいとかこういう意見があるっていうのは話してほしい。今日は幾ら言っても資料は用意してないから、正しい回答は出ないと思いますので、そ</p>

	<p>の他のところで皆さんがこの次の会にはこういう資料を用意してくださいとか要望を聞いたらいいいんじゃないかなと思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。なかなか思いがみんないっぱいなので、どこから手つけたらいいのかが本当の話、分かりにくいところだと思います。今の説明について、まだちょっと分かりにくいところとか、補足して欲しいところありませんでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>失礼します。この施策の中で、“ジモティー”との協定があると思いますが、その利用実績は市のほうで把握されているのですか。今現状どんな感じなのでしょう。気にはなりますが、実際使うかと言われたらちょっと使いにくいので、利用されている方はいらっしゃるのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>令和3年度から粗大ごみ等が多く搬出されています。その原因というのが、コロナ禍において、家の中の整理をする人が増え、粗大ごみを出す人が多くなったというのが一つの原因と捉えております。そういった中で、市としても使えるものは使っていただく、リサイクルできるものはリサイクルしようという考え方で、“ジモティー”と協定を結びました。その協定の中で、ある程度実績とか件数というのは把握しておりますので、次回のときに資料は出させていただきますと思います。それと皆さんからあったように、資料自体が、今後、こういったものが欲しいというようなことがあれば、次回から提出させていただきますと思います。今回の1回目というのは、ごみの現状という中で、まず宍粟市でごみの処理がどうなっているのか。その処理をどこでしているのか。広域で処理していることが、例えば、結婚されて宍粟市にこられた方、宍粟市に移住された方、そういった方も本日委員の中にもいらっしゃるかと思いますので、1番最初に、こういった基礎的なところで皆さんにお知らせをした後に、今後、先ほどありました構成市町の中でごみ袋どうなのか、安いのか高いのか、そういったようなところも資料として準備させていただきますので、本日は皆さん最初の取っかかりで、まず、現状を知っていただくということで本日ここまでの資料とさせていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>資料を見ていたら、宍粟市はなんでこんなに多いのだろうと思ったけど、たつの市は新宮町しか入っていないんですね。たつの市でも新宮町だけの割合で、他は別の所に出されているから、あくまでも新宮町の人口でのデータですね。宍粟市はこれだけ多いというわけではなく、平均とみなしていいのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>人口を見ますと、たつの市、新宮町が1万3,000人。宍粟市が3万5,000人。上郡町が1万4,000人、佐用町が1万5,000人で、ごみの搬出量でいいますと宍粟が42%だったかと思いますが、人口案分で言いますと45%を占めております。他市町にいたしましては、おおよそごみの排出量と同じで、たつの市で18%ごみの搬出量があつて人口は16.8%、似たような形で出されてるというのが現状でございます。</p>

委員長	特別に多いということではないですよ。
事務局	手元の資料によりますと、人口割合とごみの排出量がおおよそ似たような形にはなっているというのが現状です。
委員長	安心してはダメなのですが、この会議ではちょっとでも減らしたいなと思います。それと、今、学校のリサイクル数がぐっと減っているのですよね。学校の校数は変わってないのに、すごく変わっていますね。分量としたらだんだん学校も大変になってきているのでしょうか。途中、廃品回収されないときもあったんですよ。学校の子どもの数も減っているし、今年度ぐらいからまた活動開始されてるのですか。
事務局	委員長が言われるように減っているのは、一つはコロナ禍の影響で、学校自体がリサイクル活動を中止した、もしくは、例えば3回やっていたのを2回に縮小したとかそういった関係があります。それと、やはり当初の合併以後の小学校等の推移もありますが、学校自体が少なくなってきていますので、その分、少なくなってきているという影響も考えられます。以前であれば、例えば、子供会とかも参加してやられていましたが、だんだんその子供の数の縮小であったりとか、親の負担も考えてなくなってきているというのが現状であります。それとたつの市ですけども、今、にしはりまの方はこの新宮町だけで、たつの市はもう一つごみ処理施設がありますので、2か所でされているということです。新宮町だけ残っているのは、かつて西播磨テクノポリス圏域とって、ご存じかと思いますが、播磨科学公園都市、そのときの構成市町に新宮町が入っていて、その後、市町村合併でたつの市になったという経緯で、新宮町だけは同じにしはりまクリーンセンターの中で処理をされているということです。
委員	川戸には衛生施設があります。市内にいくらか、そういう施設があろうかと思いますが、今回みたいに、これだけ出されると、全てがにしはりまクリーンセンターっていう風な思いを持たれる方もあると思ったりもします。市内の中でどういう施設があって、どういう活動があって、どうされているのかと。そうした中でクリーンセンターはこうだということも、分かりやすく説明していただければありがたいと思います。
事務局	先ほど言われたように、川戸には山崎浄苑という施設がありまして、直営でプラ製容器包装を収集しております。それと最終処分場は、元の美化センター、今は北残渣最終処分場ということで、にしはりまクリーンセンターで出てきた不燃性残渣をそちらで処分しています。収集運搬経費は、委託収集で可燃6業者、粗大3業者、不燃1業者と資源が3業者で収集をしております。プラ製容器包装は、13ページプラ容器包装134トン、これを収集しているのが直営で、その拠点になっているところが川戸の山崎浄苑になります。
委員	よく分かっている人がそうやって言われるとよく分かるのですが、大変申し訳ないですが、やはり丁寧にしてもらわないと難しいと思いますので、いろいろ大変だろうとは思いますが、もう少し丁寧に説明をお願いいたします。

委員長	今、私も初めて知ったのですが、クリーンセンターだけでなく、地元でそういうことをされているところもあるということですか。
事務局	地元で市内循環というものがあります。それが 14 ページ。缶類、びん類、古紙類、布類ですが、これは市内の中間処理施設に持って行って、買い取っていただいて売却したお金を自治会に還元するという市内循環というものです。これは少し分かりにくいことなので、できるだけ分かりやすいように次回整理して説明します。
委員長	せっかく宍粟市でやっている部分があったら、私たちもそのために皆勉強にこられると思っているので、そういう処理もある、出来ているということを地域に広めるようなこの会になったらいいなと思いますので、その辺の資料をよろしくをお願いします。
事務局	先ほど事務局から説明しかけていた山崎浄苑のプラ製容器包装を収集しているという話もありますが、要は、12 ページから 14 ページに、収集する品目とそれがどこに持って行かれているのか、どういうふうに再資源化するのかというのはここに書いてあります。今説明していたのは、どの業者が収集して持っていつているのかというのは、プラ製容器包装だけは市の直営の方がしています。直営の者がいるのが山崎浄苑ですけれども、それ以外の品目については、委託した業者が収集区域を分けて集めていますが、その資料自体が今ないので、可燃ごみはどのようなブロックに分かれていて、その業者名を出すのかどうかは別として、何社で運んでいるとかという資料は次回提出させてもらうようにします。
委員長	ほかはないですか。今の説明については、一応これで打ち切らせていただいてもいいでしょうか。それでは、その他のところで、また次回に資料等で、もっと欲しいなというのがありましたら、お願いします。
委員	先ほどから皆さん意見が出てましたけれども、1 番知りたい、ちょっと身近で気になるのはごみ袋の値段です。神戸市は、神戸市指定の印刷はしてあるけれども、どこで買ってもいい。スーパーでも買えるし、その作っている業者さんが何社かあるので、1 枚が 8 円だったり、10 円だったりとか、薄さとか、それによっても値段変わっています。横浜市は、白の袋だったら何でもオーケー。だから、スーパーでいただいた袋に入れても持って帰ってもらえるので、それはもうごみ袋代 0 円です。掛からない。あと、姫路市が何十年か前で、よく分からないですけど、〇〇組さんって、印刷が書いてあつてごみ袋にすごいなと思ったのですが、姫路市はそこに委託されてずっと昔から印刷していると聞いたことがあって、ごみ袋代っていうのもすごく、さっき 400 幾ら取っているところもあるって言えば、いろいろ収集の仕方も別々だったりするので、そんなに広い範囲でなくてもいいので、せめてにしはりまクリーンセンターと一緒に出している 4 市町のごみ袋代とか、どういう形で、にしはりまクリーンセンターに他の所は 2 億だったら 2 億を、ごみ袋の手数料はどのぐらいの割合なのか

	<p>ってというのが知れたら、必然的に市町村によって財政状況とかは違うと思うんですけど、参考になるんじゃないかなと思います。</p>
事務局	<p>こちらでも兵庫県の統計などである程度は把握していますが、段階的にそういうことをお示ししようと考えておりました。今回は、全体の概要から説明するというので、おいおいその資料は出す予定にしております。先ほど言われました姫路市も、市場価格で、柄は統一して、充当はしてないようです。</p>
委 員	<p>この生ごみ処理機の補助制度というところで、コンポストと段ボールコンポスト等、今このキエーロってというのが今年度の主なというか、初めての部分なのかなと思いますが、この緑色の左の下に書いてある、この形のものは見たことは確かにあるんですけど、28件というのは、5,000円以上のもので、2分の1の補助が出て、最大2万円までってところで28件の人が、この補助制度を使って、こういうものをつくりましたっていうのは宍粟市全体で28件だけなんですかね。あと、ダンボールコンポストとかもそうだし、今のこのキエーロの85万円というのは、購入する際に費用を助成しますって書いてありますが、この85万円がなくなったらもう助成が終わりなのですか。何かいいなとは思いますが、家の庭のどこに置こうとか、畑があったら畑に置いたらいいのかなと思います。こういうことがあるのであれば、知ってもらうように、私たちも自分の言葉で広めていけるなとは思いますが、それがこの28件は、少ないのかなとか思うんですけど。</p>
事務局	<p>以前は最大60件ほど出した時期もありました。内訳は乾燥式といって単純に乾かして減らすものであったりとか、コンポスターも多いときで14件あったりとか、あとバイオ方式といって電動で攪拌しながら堆肥をつくるようなものもあります。それとキエーロに関しましては、今現在しそチャンネルのほうでトライやるウィークのキエーロのことを聞くということで宣伝しておりますので、そういった形で普及啓発に努めております。この85万円の内訳の大部分は、キエーロ作成講座の材料代になります。キエーロの特徴としましては、田んぼや畑がなかったり、遠くにあってもそれを置くことで、近くで生ごみを処理できる。ここに入れば確実に生ごみの8割の水分がなくなってしまうので、それぞれの状況に応じてどういった方法がいいのかよく考えながらやっていただけたらいいかなと思っております。</p>
委 員	<p>60個は少ないですか。</p>
事務局	<p>この作成講座ではどれだけ講座に来ていただくかということで、通常買ったなら1万3,000円するものが作成講座だと2,000円で作成できるというものになっております。その普及啓発用の材料代が主になってきます。補助は補助で別枠です。</p>
委 員	<p>でき上がったものを購入するのだったら1万3000円ぐらいですか。</p>
事務局	<p>はい。1万3,000円で、補助制度を利用していただければ6,500円になるとい</p>

	うものです。
委員	作る所に行けたら2,000円で済みますが、行けなかったらね。ベランダにおけるってことは土も下に出てこないタイプなのですか。
事務局	木の器で全部土を受けるので、そこに畑があるような状態だと考えてもらえばいい。
委員	微生物が分解して土がどんどん増えていくということですか。
事務局	許容量がありますが、例えば500グラム以内で、夏場だと1、2日でなくなってしまいますので、その範囲内であれば土は増えないということになります。
委員	何か説明を聞けば聞くほど、もっと周知してもいいんじゃないかなって思います。においがなくてベランダで置けるなら、6,500円でどんどん販売していてもいいんじゃないかなって思う。補助制度とかじゃなく、もうこの金額で宍粟市なら買えますというぐらいで、ホームセンターに置くぐらいでもいいんじゃないかなっていう風に思いました。そしたら、この助成金85万円で、2,000円の材料費で講座に何人来るかっていうことを考えるよりかは、ホームセンターに行けば3,000円で買える4,000円で買えるとかないと、私は家庭でここまでのことしているんだって各一人一人の認識が高まるんじゃないかなって思います。土地はたくさんあっても私たち世代で農家とか、畑持つてないので、まだハイツとか、マンションで住んでる人もいるから、本当に土が下に漏れたりしないのなら、自分の家で土ができるってところはいいことだと思います。そしたら家庭菜園などに使えるので、助成金よりもホームセンターで買えるようにしてほしいです。それぐらいのものかなと思いました。
事務局	できるだけこれが普及して行って、販売できるような体制づくりをしたいと思っております。
委員長	あくまでも材料代で、つくるのは自分ですか。あくまでも仕上がったやつを渡しますという条件ではないですか。
事務局	その補助制度は、1万3,000円のものを購入して半分補助しますというのと別立てで、普及啓発で作成キット、材料代2,000円払って作るものです。
委員長	作ったものに対しての補助金ではなく、キットに対しての補助金ですか。
事務局	それは全く別のもので、作成講座と補助事業、両方あります。
委員長	出来た物を買うっていう制度は、今のところないでしょ。
事務局	説明した生ごみ処理機の購入補助金は、いろんな生ごみ処理機があります。その中にキエーロも入れてありますので、その分の最大2万円と2分の1という

	<p>補助をするというところですが、今言われたのは、少し話が混同しておりますが、一方で、これを普及させていこうと講座を開く予定です。その講座にはキットがありますので、キット代、講座代で2,000円いただいて講座に入ってもらえることなんで、そこは別々です。あくまでも、この85万円は講座のキットをつくる製作費の市の予算が85万円ということなので、この補助金額ではないです。</p>
委員長	<p>今のところはでき上がったものを販売云々とは別の話ですよ。大いに講座を設けていただいて、グループでつくりましょうという話ですよ。例えば、二階においておられる方があって、便利よくされていると聞いております。見本が下にありますので、見て帰っていただいたらいいかなと思います。</p>
委員	<p>来年の3月までに、この会は、何回ほど予定されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>10月までに5、6回は開催しようと思っています。それで意見をまとめたいと考えております。</p>
委員長	<p>ほかにはないでしょうか。事務局は今出た質問の資料を作っていただいて、次回に提出してもらって、検討材料にしていきたいと思っておりますのでお願いします。それと一つ分からなかったのが、たつの市は、新宮と、もう一つあると言われてましたけど、袋については同じ値段のものを利用されているのですか。</p>
事務局	<p>たつの市は新宮町がにしはりまクリーンセンターで、それ以外は揖龍清掃組合で処理しています。</p>
委員長	<p>それは同じ金額で処理をされているということですか。</p>
事務局	<p>はい。ごみ袋の値段は一緒です。</p>
委員	<p>よくごみ収集のときに、地域でおばさんたちが並んで結構厳しいチェックをされているから、チェックする人も大変だなと思ったり、出す人も真剣に出さないとかんなどという姿は、見ることがあります。それが宍粟市でできるかどうかは別として、そういう姿も見たことがあります。</p>
委員長	<p>それでは、今日の会はこれぐらいにして、次回開催日程については、どのような方法がよいでしょうか。一応基本的には、月1回の開催ということで、事務局は思っておられますが、いかにさせていただいたらよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>事務局に任せたらいいのではないですか。</p>
委員長	<p>仕事の関係で出にくい方もおられると思いますが、大事な問題なので、極力、日程調整をして出席してください。事務局一任という形でもよろしいでしょうか。</p>
	<p>～一同了承～</p>

	事務局でお願いします。
事務局	ありがとうございます。この会議につきまして、事務局で、日程については調整させていただきます。それで、この会議が何回というところは、特に計画はしておりません。ただ、回数としましては、基本的には1か月に1回程度で進めていく。何回か繰り返して、委員会としての意見書をまとめるのはまだ早いということであれば、増えていくと思います。今想定しているのは、毎月1回で、5回6回ぐらいかかるのではないかとというスケジュールで進めさせていただきますので、次回日程につきましては、事務局で調整させてもらうということで、よろしくお願いします。
委員長	ありがとうございます。次回は、どのようにお考えなんでしょうか。
事務局	今、こちら考えておりますのは、うちの処理施設の肝になる、にしはりまクリーンセンターというところがございます。何回か行かれた方もあるとは思いますが、最終的にどのような処理がされているのか、皆さんに知っていただきたいというところもありますので、現地に行かせていただいて、処理施設の仕組みなどを見学し、質問していただければと思いますし、クリーンセンターの会議室を使って本日の宿題に対する回答等をお返ししたいと思います。もし、それでよろしければ、日程調整を進めていきたいと思います。
委員長	時間的にこの会議なら1時間半や2時間で収まりますけど、移動するとなった場合、どのぐらいの時間をお考えなのでしょうか。
事務局	だいたい片道45分で1時間半程度は移動時間を見ていただいたらと思います。
委員長	半日コースで行けますでしょうか。
事務局	昼に市役所をスタートしまして、にしはりまに行って、施設見学して、会場で1時間程度会議持っていただいて帰ってくる。帰ってくるのは4時過ぎを想定しています。
委員長	分かりました。今日はありがとうございました。本日の議題は全て終了しましたので、事務局に最終進行おまかせいたします。
事務局	日程は今後調整させていただきますが、7月の中旬を予定しております。決まり次第、郵送で、委員のみなさんにはお知らせさせていただきます。それでは、委員の皆様におきましては大変お忙しい中、出席いただき、慎重にご審議いただきありがとうございました。宍粟市のごみ収集等手数料あり方検討委員会の閉会に当たりまして、副委員長のほうから、閉会のご挨拶をもらいたいと思いますので、副委員長よりよろしくお願いいたします。
副委員長	閉会のあいさつ

* 発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。